

# 環境活動レポート

2017度

2017年1月1日～2017年12月31日



神明の大ケヤキ

樹高 24m 幹周 8.97m 樹齡 約 900 年以上

金沢市野町 神明宮境内

2018年4月20日

石川県羽咋市川原町チ250番地

疋田農昌園

## 1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

疋田農昌園 代表 疋田國博

(2) 所在地

石川県羽咋市川原町チ 250 番地

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 担当者 疋田國博

連絡先 TEL 0767-22-0372

FAX 0767-22-953

E-mail info@hikida-en.com

URL http://www.hikida-en.com

(4) 事業内容

造園工事・造園管理

山林種苗生産

(5) 事業規模

従業員 3人

事務所延べ床面積（住宅隣接） 58 m<sup>2</sup>

圃場 90000 m<sup>2</sup>

売上高 3800 万円

## 2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

造園工事・造園管理

山林種苗生産

(2) レポート対象期間

2017年1月1日～2017年12月31日

### 3. 環境方針

#### 企業理念

1. 造園・緑化事業を通じて、より良い環境の創造、地域社会の発展に貢献します。
2. 技能・技術を大切にし、顧客の要望と社会的使命に応えます。
3. 社会の信用と顧客の信頼に基づいて事業の発展を図ります。

#### 環境方針

当事業所は、日々、造園・緑化に携わる者としてよりよい環境の構築をめざして事業に取り組んでいますが、見落としがちな環境負荷・廃棄物の削減や省資源の取り組みと同時に環境にやさしい資材の購入や施工からサービスにおける事業全般にわたって自然・環境への取組を展開します。また、あらためて造園・緑化の価値を従業員一丸となって再構築するものです。

#### 基本方針

1. 環境への取組を推進するために、エコアクション21に積極的に参加し、その運用に努めます。
2. 環境関連法規・規則等を遵守します。
3. 事業者として、以下を重点として環境負荷の削減・環境への取組を実施します。
  - ・ 事業におけるCO<sub>2</sub>の排出量の削減
  - ・ 事業に伴う廃棄物の削減、リサイクルの推進
  - ・ 事業における排水量の削減・節水
  - ・ 事業における省資源の推進
  - ・ 事業における環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）
  - ・ 事業における資材等のグリーン購入、省エネ機器の導入、使用
4. 造園緑化工事業者として緑化の拡大等の提案や樹木保護に積極的に取り組みます。お施主様に対してより環境に配慮した資材・計画・工法等の提案をします。
5. 自然保護活動など地域貢献活動に積極的に参加します。
6. 従業員に対して環境に必要な環境教育を実施します。

2012年2月3日

足田農昌園  
代表 足田 國博

## 4. 環境目標 (2015年～2017年)

### (1) 環境負荷項目の目標

2014年までの実績をふまえ、目標・リサイクル率を2017年までの3年計画とします。

- 1) 前回目標を掲げた2014年度までの3カ年では二酸化炭素排出量の負荷項目は灯油を除いていずれも2ケタ前後の増減があるので、過去3年の実績の平均値を基準値として毎年0.5%減の目標とします。灯油使用量の削減率も同様とします。
- 2) 他の項目も上記と同様に基準値比で毎年0.5%減の目標です。一般廃棄物の削減は、剪定枝を除く一般廃棄物とします。また、コピー用紙総量は2014年度が増加したため、基準値も増やしました。
- 4) 剪定枝リサイクル率は引き続き100%を目標とします。
- 5) ガソリン使用量・軽油使用量について使用車両の走行距離を引き続き調査し、事業量の増減・事業先の距離に伴う使用量の増減の判断の指標づくりを試みます。
- 6) グリーン購入についてはまず事務用品の目標を掲げ、資材については引き続き調査を行い、購入基準を明確にする。

※一般廃棄物には剪定枝は含まれていません。 購入電力排出係数 平成25年度 北陸電力 0.630kg-CO2/kwh

### (2) 削減目標・リサイクル率

目 標 項 目		前回基準値	基準値	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素排出量	総量 (Kg-CO2)	19,336	17,357	17,270	17,183	17,097
電力使用量	総量 (kWh)	8,228	7,547	7,509	7,471	7,362
灯油使用量	総量 (ℓ)	975	981	976	971	966
LPG使用量	総量 (kg)	41	32	31.8	31.7	31.5
ガソリン使用量	総量 (ℓ)	1,849	1,611	1,603	1,595	1,587
軽油使用量	総量 (ℓ)	3,484	2,409	2,397	2,385	2,373
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
総排水量・水使用量	総量 (m <sup>3</sup> )	475	430	427	426	424
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	総量 (kg)	448	650	647	644	640
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
剪定枝リサイクル率	%			100	100	100
資源等使用量 (コピー用紙)	総量 (枚数)	2,852	3,562	3,544	3,526	3,509
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
コピー用紙再利用率	%	47	44	46	46	45
グリーン購入比率	%		68	68	69	69
増加率 (累計)				1.0%	2.0%	3.0%

## 5. 環境活動計画

### (1) 二酸化炭素排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	取組
燃料の削減 自動車等	車両の効率的運用・配車に努める	管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業前に合理的な配車をする</li> <li>各車の走行距離を調査する</li> </ul>
	建設機械の省エネ運転に努める	運転者	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップを行う</li> <li>効率的な作業を行う</li> </ul>
電力使用量の抑制	事務所の空調は（冷房 28℃暖房 24℃）とする	各使用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定温度を表記する</li> <li>温度計を設置する</li> </ul>
	電気器具については省エネタイプを導入する	管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>機会があれば購入する</li> </ul>

### (2) 総排水量（上水道使用量）の削減について

活動計画の内容		取組担当	取組
事務所	道具・車両の洗浄は泥等を良く落としてから洗浄する	作業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互い注意する</li> </ul>
苗畑	無駄な散水はしない	山林種苗担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>天候や土壤の乾燥具合をよく考えて散水する</li> </ul>

### (3) 廃棄物排出量の削減とリサイクルについて

活動計画の内容		取組担当	取組
リサイクル 剪定枝の	チップセンター等に搬出する。	造園担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定枝の大きさを考慮して搬出する</li> </ul>
	積み置き場を整理整頓する	造園担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>片付けを励行する</li> </ul>
一般廃棄物の削減	廃棄物の分別を徹底する	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別箱・袋を設置する</li> </ul>
	無包装品、詰換え用を購入する。	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>購入時に注意を払う</li> </ul>

#### (4) 省資源化の徹底について

活動計画の内容		取組担当	取組
削減 紙 使用 量 ( コ ピ ー 用 紙 ) の	可能なかぎり、ダイレクトFAX 写真・図面はメールに添付する。	各使用者	・相手先に応じて行う
	データーはデジタル化し極力プリ リンとアウトしない	各使用者	・HDDの増設等おこなう
	印刷設定に注意する	各使用者	
等 購 入	グリーン購入・エコ商品を積極的に購入する	総務担当	・購入時に確認する

#### (5) 環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）について

活動計画の内容		取組担当	取組
農 薬 の 適 正 使 用	作業時法令等を遵守する	管理責任者	・法令等の教育を適宜する
	病害虫を早期に把握し、適切な防除	管理責任者	・早々に対応する
	農薬を適切に保管する	各作業員	・購入・使用記録を行う
	安全で環境負荷の少ない薬剤を使用する	管理責任者	・事前にチェックする

#### (6) 緑化の拡大などの提案について

活動計画の内容		取組担当	取組
的 拡 大 緑 化 の 量	緑化の拡大など積極的に提案する	管理責任者	・造園・緑化の意義を把握する
	マツ材線虫病の防除に積極的に取り組む	管理責任者	・具体的に提案する
的 拡 大 緑 化 の 質	樹木保護に取り組む	造園担当	・樹木医活動を積極的に行う
	抵抗性マツの生産を軌道にのせる	山林種苗担当	

#### (7) 環境にやさしい資材・工法・サービスの使用と提案

活動計画の内容		取組担当	取組
購 入 等 グ リ ー ン	資材のグリーン購入	造園担当	・まずは基準を精査する
工 法 ・ サ ー ビ ス	環境浄化に優れた樹種等を勧める	造園担当	・樹種の調査
	省エネ・省資源型の建設機械の使用	造園担当	・レンタル先で確認する

## 6.環境目標の達成状況と評価

### (1) 実績

目 標 項 目		2016 年	2017 年				
			上半期	下半期	計	前年比	目標比
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2)	19,777	8,961	12,568	21,547	+8.9%	+26.0%
電力使用量	総量 (kWh)	7,750	3,713	3,761	7,474	-3.5%	+1.5%
灯油使用量	総量 (ℓ)	855	375	361	736	-8.5%	-23.8%
LPG 使用量	総量 (kg)	32	15	14	29	-13.9%	+7.9%
ガソリン使用量	総量 (ℓ)	2,195	1,135	1,263	2,398	+9.2%	+51.1%
	走行距離 (km)						
軽油使用量	総量 (ℓ)	2,887	1,146	2,416	3,563	+23.4%	+50.1%
	走行距離 (km)						
総排水量 (上水道使用量)	総量 (m <sup>3</sup> )	369	188	180	368	-0.2%	-13.2%
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	総量 (kg)	798	315	355	670	-16.0%	+4.6%
剪定枝リサイクル率	%	100	100	100	100	±0.0%	±0.0%
資源等使用量 (コピー用紙)	総量 (枚数)	4,783	3,895	2,553	6,448	+34.81%	+83.7%
	再利用率 (%)	37.2	61.4	41.2	53.5	+43.8%	+18.8%
グリーン購入比率 (投入資材)	%	84.2	100.0	100.0	100.0	+18.7%	+44.9%

※ 購入電力排出係数 平成 25 年度 北陸電力 0.63kg-CO2/kwh

### (2) 評価

- 今年度も昨年同様、目標比で灯油使用量のみ 23.8%減となりましたが、ガソリン使用量 51.1% 軽油使用量 50.1% で大幅な増加となりました。これは 2 年前からの七尾市能登島町での業務の受注と業務の増加、羽咋市内での工事の受注によりバックホウなど建設機械の燃料によるものです。電力使用量 1.5% LPG 使用量 7.9%増になり、二酸化炭素排出量で 26.0%の増加となりました。特に軽油は昨年比 23.4%増になりました。工事の受注や工事の内容、工事場所により軽油・ガソリンの使用量が大きく変化することを痛切に感じました。
- 上水道使用量については目標比 13.2%減で昨年比でも微減でした。
- 一般廃棄物については昨年比 16.0%減で目標比 4.6%増です。昨年度より減少しています。これは昨年 1 月中旬から 3 月末まで母親の病で廃棄物の減少によるものと考えます。剪定枝のリサイクル率は引き続き 100%です。
- コピー用紙の使用量については目標比昨年比ともコピーの使用量が大きく増加しました。工事等の受注により提出書類の増加によるものです。再利用率も増加しています。
- グリーン購入比率を事務用品・投資資材・設備の 3 項目を設定し、5 年目となりました。事務用品については基準がほぼ明確になりましたが、いまだ投資資材の基準について不明確です。

## 7.環境活動計画の実施状況と結果・評価

[ ○取り組んでいる    △さらに取組が必要    ×取り組んでいない ]

山林種苗部も対象に加えたので一部変更しました。

### (1) 二酸化炭素排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	2017年		備考
			上半期	下半期	
燃料の削減 自動車	車両の効率的運用・配車に努める	管理責任者	○	△	走行距離の調査し忘れ
	建設機械の省エネ運転に努める	運転手	○	○	
電力使用量の抑制	事務所の空調は（冷房 28℃暖房 24℃とする）	各使用者	○	○	
	電気器具については省エネタイプを導入する	管理責任者	×	×	壊れないと買い替えできない

### (2) 総排水量（上水道使用量）の削減について

活動計画の内容		取組担当	2017年		備考
			上半期	下半期	
事務所	道具・車両の洗浄は泥等を良く落としてから洗浄する	作業員	○	○	
苗畑	特に無駄な散水はしない	山林種苗担当	○	○	夏、高温少雨で使用 増え 電気代増加

### (3) 廃棄物排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	2017年		備考
			上半期	下半期	
リサイクル 剪定枝の	チップセンター等に搬出する。	造園担当	○	○	
	積置場を整理整頓する	造園担当	○	○	
削減 一般廃棄物の	廃棄物の分別を徹底する	総務担当	○	○	
	無包装品、詰換え用を購入する。	総務担当	△	○	無包装の商品は少ない



#### (4) 省資源化の徹底について

活動計画の内容		取組担当	2017年		備考
			上半期	下半期	
削減 紙使用量 (コピー用紙) の	可能なかぎり、ダイレクトFAX 写真・図面はメールに添付する	総務担当	○	○	
	データはなるべくデジタル化し、プリン トアウトを極力少なくする	各使用者	○	△	公共工事等の提出書類の 対応が必要
	印刷設定に注意する	各使用者	○	△	慌てると失敗する
購入等 グリーン	グリーン購入・エコ商品を積極的に購入する。	総務担当	△	○	基準の検討が必要

#### (5) 環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）について

活動計画の内容		取組担当	2017年		備考
			上半期	下半期	
農薬の 適正使用	作業時、法令等を遵守する	管理責任者	○	○	法令等の教育
	病害虫を早期に把握し、適切な防除	管理責任者	△	○	山林種苗で対応が遅れる
	農薬を適切に保管する	各作業員	○	○	
	安全で環境負荷の少ない薬剤を使用する	管理責任者	△	○	基準の検討が必要

#### (6) 緑化の拡大などの提案について

活動計画の内容		取組担当	2017年		備考
			上半期	下半期	
的拡大 緑化の 量	緑化の拡大など積極的に提案する	管理責任者	△	△	まだまだ努力が足りない
	マツ材線虫病の防除に積極的に取り組む	管理責任者	○	△	樹幹注入を薦める
的拡大 緑化の 質	樹木保護に取り組む	造園担当	○	○	
	抵抗性マツの生産を軌道にのせる	山林種苗担当	△	△	幼苗育成が不十分

#### (7) 環境にやさしい資材・工法・サービスの使用と提案

活動計画の内容		取組担当	2016年		備考
			上半期	下半期	
購入 グリーン	資材のグリーン購入	造園担当	△	△	基準の検討必要
い提案・ 工法	環境浄化に優れた樹種等を勧める	造園担当	△	△	
	省エネ・省資源の建設機械の使用	造園担当	○	○	

## 8. 次年度以降の目標と取組

### (1) 環境負荷項目の目標 (2018年～2020年)

2017年までの実績をふまえ、目標・リサイクル率を2020年までの3年計画とします。

- 1) 前回目標を掲げた2017年度までの3カ年では二酸化炭素排出量について、当方の規模では業務の新規受注やその内容、業務場所により、特に軽油・ガソリン使用量に大きな増減があります。よって負荷項目全てについて2017年度を基準値として毎年0.5%減を目標とします。
- 2) 他の項目も上記と同様に2017年を基準とし基準値比で毎年0.5%減の目標です。
- 3) 剪定枝リサイクル率は引き続き100%を目標とします。
- 4) ガソリン使用量・軽油使用量について使用車両の走行距離を引き続き調査し、事業量の増減・事業先の距離に伴う使用量の増減の判断の指標づくりを試みましたが調査不十分で検討します。
- 5) グリーン購入についてはまず事務用品の目標を掲げ、資材については引き続き調査を行い、購入基準を明確にします。

※一般廃棄物には剪定枝は含まれていません。 購入電力排出係数 平成25年度 北陸電力 0.630kg-CO2/kwh

### (2) 削減目標・リサイクル率

目 標 項 目		前回基準値	基準値	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素排出量	総量 (Kg-CO2)	17,357	21,547	21,439	21,331	21,223
電力使用量	総量 (kWh)	7,547	7,474	7,436	7,399	7,361
灯油使用量	総量 (ℓ)	981	736	732	728	724
LPG使用量	総量 (kg)	32	29	28.8	28.7	28.6
ガソリン使用量	総量 (ℓ)	1,611	2,398	2,386	2,374	2,362
軽油使用量	総量 (ℓ)	2,409	3,563	3,545	3,527	3,509
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
総排水量・水使用量	総量 (m <sup>3</sup> )	430	368	366	364	362
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	総量 (kg)	650	670	666	663	660
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
剪定枝リサイクル率	%			100	100	100
資源等使用量 (コピー用紙)	総量 (枚数)	3,562	6,448	6,415	6,383	6,351
削減率 (累計)				0.5%	1%	1.5%
コピー用紙再利用率	%	44	53	52.7	52.4	52.2
グリーン購入比率	%	68	54	53.7	53.4	53.1
増加率 (累計)				0.5%	1%	1.5%

### (3). 環境活動計画

#### 1) 二酸化炭素排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	取組
燃料の削減 自動車等	車両の効率的運用・配車に努める	管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業前に合理的な配車をする</li> <li>・各車の走行距離を調査する</li> </ul>
	建設機械の省エネ運転に努める	運転者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ unnecessary アイドリングはしない</li> <li>・ 効率的な作業を行う</li> </ul>
電力使用量の抑制	事務所の空調を（冷房 28℃暖房 24℃）を徹底する	各使用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定温度を表記する</li> <li>・ 温度計を設置する</li> </ul>
	電気器具については省エネタイプを導入する	管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機会があれば購入する</li> <li>・ LED照明の導入</li> </ul>

#### 2) 総排水量（上水道使用量）の削減について

活動計画の内容		取組担当	取組
事務所	道具・車両の洗浄は泥等を良く落としてから洗浄する	作業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互い注意する</li> </ul>
苗畑	無駄な散水はしない	山林種苗担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天候や土壤の乾燥具合をよく考えて散水する</li> </ul>

#### 3) 廃棄物排出量の削減とリサイクルについて

活動計画の内容		取組担当	取組
リサイクル 剪定枝の	チップセンター等に搬出する。	造園担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 剪定枝の大きさを考慮して搬出する</li> </ul>
	積み置き場を整理整頓する	造園担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 片付けを励行する</li> </ul>
一般廃棄物の削減	廃棄物の分別を徹底する	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別箱・袋を設置する</li> </ul>
	無包装品、詰換え用を購入する。	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入時に注意を払う</li> </ul>

#### 4) 省資源化の徹底について

活動計画の内容		取組担当	取組
削減 紙 使用 量 ( コ ピ ー 用 紙 ) の	可能なかぎり、ダイレクトFAX 写真・図面はメールに添付する。	各使用者	・相手先に応じて行う
	データーはデジタル化し極力プリ リントアウトしない	各使用者	・HDDの増設等おこなう
	印刷ミスに注意する	各使用者	・印刷プレビューで確認する
等 購 入	グリーン購入・エコ商品を積極的に購入する	総務担当	・購入時に確認する

#### 5) 環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）について

活動計画の内容		取組担当	取組
農 薬 の 適 正 使 用	作業時法令等を遵守する	管理責任者	・法令等の教育を適宜する
	病害虫を早期に把握し、適切な防除	管理責任者	・早々に対応する
	農薬を適切に保管する	各作業員	・購入・使用記録を行う
	安全で環境負荷の少ない薬剤を使用する	管理責任者	・事前にチェックする

#### 6) 緑化の拡大などの提案について

活動計画の内容		取組担当	取組
的 拡 大 の 量	緑化の拡大など積極的に提案する	管理責任者	・造園・緑化の意義を把握する
	マツ材線虫病の防除に積極的に取り組む	管理責任者	・具体的に提案する
的 拡 大 の 質	樹木保護に取り組む	造園担当	・樹木医活動を積極的に行う
	抵抗性マツの生産を軌道にのせる	山林種苗担当	

#### 7) 環境にやさしい資材・工法・サービスの使用と提案

活動計画の内容		取組担当	取組
購 入 等	資材のグリーン購入	造園担当	・まずは基準を精査する
工 法 ・ サ ー ビ ス	環境浄化に優れた樹種等を勧める	造園担当	・樹種の調査
	省エネ・省資源型の建設機械の使用	造園担当	・レンタル先で確認する

## 9.環境関連法規の遵守状況のチェック結果 並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 適用される環境関連法規

[ ○取り組んでいる    △さらに取組が必要    ×取り組んでいない ]

主な摘要法規	該当事項	対応	2017年確認	
			7/19	1/13
			確認者 疋田	確認者 疋田
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	分別、保管	分別・保管場所を明確にする	○	○
		積込・搬出時に注意する	○	○
	マニフェストの管理	綴り管理する	○	○
	廃棄物不法投棄、焼却の厳禁	注意し、徹底する	○	○
	リサイクルの促進	搬出先に留意する	○	○
	運搬時の表示と書類の携帯	運搬車に常備する	×	×
農薬取締法	土壌残留性、水質汚濁性農薬の使用規制	購入・使用前に調べる	△	△
		登録農薬の使用と使用基準の厳守	○	○
		使用前に薬剤のラベル等をよく読む	○	○
毒物及び劇物 取締り法	農薬の適正な保管管理	保管庫・倉庫の鍵の管理を厳守する	○	○
		購入・使用・在庫薬剤の記録をつける	○	○
住宅地等における農薬使用について（通知）	農薬の飛散防止	状況に応じた適切な防除	○	○
		天候・道具等で飛散防止	○	○
		事前に周辺住民に周知	○	○
	農薬の現地混用の注意	混用に関する注意事項の厳守	○	○

### (2) 違反、訴訟等

環境関連法規に対する違反はありませんでした。また、関係機関から特に指摘はありませんでしたし、訴訟等も1件もありません。

## 10.全体の評価と見直しの結果

### (1) 評価

プログラムの構築・運用について

評価項目	できた	一部できた	できなかった
①PDCAに沿ってエコアクションをすすめることができた		○	
②環境方針に沿ってエコアクションを進めることができた		○	
③環境保全と経営の両立を考えることができた		○	
④環境に与える良い影響や環境負荷を把握することができた	○		

エコアクション実施による効果について

評価項目	効果があった	一部効果があった	効果がなかった
⑤経費の削減につながった		○	
⑥新たなビジネスの可能性を発見した			○
⑦従業員の環境意識が変わった	○		
⑧外部に対してPRすることができた			○
⑨顧客や地域の信頼につながった			○

### (2) 見直し

①環境方針 変更なし	②環境関連法規遵守評価 変更なし
③環境目標 2018年から2020年までの3か年目標を設定する	④実施体制 変更なし
⑤環境教育 変更なし	⑥環境コミュニケーション 変更なし
⑦環境活動計画 達成できている活動は除き、新たな活動を計画する	⑧環境上の緊急事態への準備と対応 変更なし
⑨環境活動レポート 変更なし	⑩その他環境への取組 変更なし

